

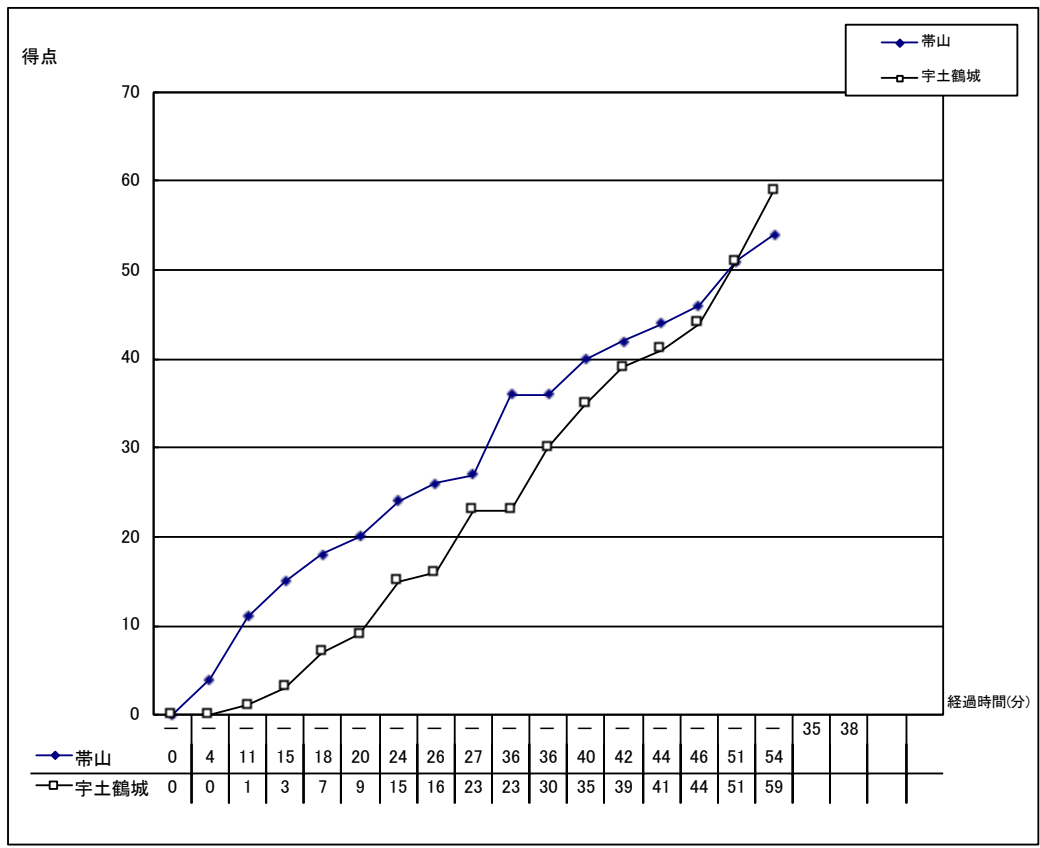
令和6年度 熊本県中学校夏季総合体育大会

個人データ表

男子 準決勝	令和6年7月21日	9:30 開始	
	会場： ウィング松橋	第1試合	
	主審： 岩尾	副審： 小迫 久保	
帯山 熊本市	54	59	☆ 宇土鶴城 宇城
	18 9	1 Q 2 Q	7 16
	15 12	3 Q 4 Q	16 20

帯山												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	井上 遥斗	18	2	10	5	11	2	4		2	1	3
○ 5	福田 詠	4		2	1	9	2	3	5	1		1
6	梶原 大禅	3		4	1	2	1	2	1			
○ 7	松永 来希	16	2	8	4	10	2	2	4	2	1	3
8	松尾 悠凜											
9	吉武 悠											
10	上妻 悠哉											
11	王 翼											
○ 12	杉水 煌史	5	1	2	1	1			3			
13	村尾 岳											
14	柴田 和樹	3	1	1		1			2			
15	日隈 太郎											
16	古閑 律心								1	2	1	3
17	西 隼斗											
○ 18	野田 幸虎	5			2	11	1	4	3	8	10	18
コーチ	岩本 亮一											
合計		54	6	27	14	45	8	15	19	15	13	28
成功率			22.2%		31.1%		53.3%					

宇土鶴城												
番号	氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF. RE	OF. RE	RE計
○ 4	平原 登来	10	2	4	2	4			4	2	2	4
○ 5	橋本 爽陽	5	1	6	1	3			1	1		1
○ 6	曾方 元士	26		3	9	16	8	13	1	6	1	7
○ 7	松内 志遥	9	1	2	2	6	2	6	2		1	1
8	江藤 朋晃											
9	瀬口 将義											
10	内村 涉	4			2	2			1			
○ 11	川端 孝佳	5		3	2	2	1	2	5	7	4	11
12	松岡 斗希											
13	中島 聖輝											
14	佐藤 龍馬											
15	榑山 仁											
16	橋本 柊陽											
17	伊藤 有吾											
山下 結都												
コーチ	林田 雄斗											
合計		59	4	18	18	33	11	21	14	16	8	24
成功率			22.2%		54.5%		52.4%					



《戦評》

1Q: 帯山はオールコートディフェンスから#4がスティールからレイアップで先制する。その後も#4のミドル、#12の速攻で6-0帯山リードとなったところで残り5'46宇土鶴城タイムアウト。しかし、帯山の勢いは止まらず、#18のオフェンスリバウンドからのゴール下シュートで12-1までリードを広げる。帯山はハーフからのディフェンスで確実に守り、リードを広げていく。一方、宇土鶴城は#6を中心に攻めを組み立てるが、リングに嫌われなかなか得点が伸びない。帯山はファウルが多く、残り1'08タイムアウトで確認を行う。その後、宇土鶴城は#4の3Pなどで得点をし、18-7帯山リードで1Q終了。

2Q: 宇土鶴城は#6の1対1を中心に攻めていく。帯山は#7のドライブから得点を重ね、宇土鶴城も堅守からの速攻で得点し、一進一退を繰り返す。残り、2'24で26-16帯山10点リード。ここから宇土鶴城は#6のゴール下、ポストプレイなどで連続得点し、一時3点差まで追いつける。27-23帯山4点リードで前半終了。

3Q: 出だしから帯山が攻勢を仕掛け、#4のレイアップ、3P、#7の3Pなどで得点を重ねていく。対して宇土鶴城は#4の3P、#6のドライブで追い上げ、残り、4'09、36-30、宇土鶴城に流れが傾きかけているところで、帯山タイムアウト。ここから一進一退の攻防が続くが、宇土鶴城が#6、#4のドライブで一気に差を詰め、40-37まで追い詰める。ここから帯山はチームファウルからのフリースローで得点していくが、宇土鶴城の流れは止まらず、42-39帯山3点リードで3Q終了。

4Q: 宇土鶴城#6のドライブで42-41の1点差となる。帯山も#7のドライブなどで得点する。宇土鶴城#6のドライブに対してフリースローを与えたとところで帯山がタイムアウト。残り3'38宇土鶴城#7の同点シュート、スローイン直後のカットから#4の逆転シュートで48-46となり、この試合初めて宇土鶴城がリードする。ここから一気に宇土鶴城が攻勢にでて、点差を広げるが、帯山も#12、#14の3Pで追いつける。残り2'55秒、57-54宇土鶴城3点リードで帯山タイムアウト。サイドスローからのオフェンスもリングに嫌われる。最後は宇土鶴城が最終スコア59-54で勝利し、九州大会出場権を勝ち取った。両チームとも最後まで諦めずにボールを追いかけ、好感の持てる好ゲームであった。

選評記者: 前田 誠 (熊本市立託麻中学校)